

授業科目 QOL論

【担当教員名】 高橋栄明、能登真一、藤沢由和、濱野強	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・栄養・心理・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

I. ひとの生きがい、人生の幸福・満足感を知るために、社会の発展に貢献した一般事例の行動を調査し、一般的なQOLを理解する。

II. 広い年齢層にわたる患者、対象者の問題を認識するために、非健康関連QOLと健康関連QOLとの相違を学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 一般事例の行動を列記できる。2. 行動の社会的背景を説明できる。3. 行動の動機を説明できる。

4. 行動の社会的意義を説明できる。5. 行動の課題を整理できる。6. 本人の達成感を説明できる。

7. 非健康関連QOLと健康関連QOLとの相違を説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	本学の理念としてのQOL・オリエンテーション 一般事例の選択 QOL一般論/アンケート	1	講義。グループ分け。高橋 藤沢・濱野
2	一般事例の調査 QOL一般論	1-6	高橋・能登・藤沢・濱野
3	一般事例の調査	1-6	高橋・能登・藤沢・濱野
4	一般事例の調査発表 1グループ（発表 15分、質問 5分） X 4	1-8	高橋・能登・藤沢・濱野
5	一般事例の調査発表 1グループ（発表 15分、質問 5分） X 3	1-6	高橋・能登・藤沢・濱野
6	一般事例の調査発表 1グループ（発表 15分、質問 5分） X 3	1-6	高橋・能登・藤沢・濱野
7	QOL論まとめ QOL一般論アンケート	7	高橋/能登

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	図書館などの資料を利用			

【評価方法】 一般事例の調査に基づいたレポート 出席、期末試験を総合して評価	【履修上の留意点】 ノート型パソコン使用
--	-------------------------

全科共通科目 医療福祉